

ご担当者各位

平成30年1月18日
日本トータルシステム株式会社

GroupSession における Oracle Java の脆弱性の影響について (CVE-2018-2638 等)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成30年1月17日に情報処理推進機構 (IPA) より Oracle Java についての脆弱性 (CVE-2018-2638 等) の情報が公開されましたので GroupSession への影響について報告いたします。

1. 脆弱性の概要

Oracle 社が提供する JRE (Java Runtime Environment) は、Java プログラムを実行するためのソフトウェア実行環境となっており GroupSession を動作するために必要なミドルウェアです。

Java SE JDK および JRE には複数の脆弱性が存在し、攻撃者に悪用されると、リモートからの攻撃によって Java の不正終了、任意のコード (命令) が実行され、コンピュータを制御される可能性があります。

2. 影響範囲

以下のミドルウェアを使用している GroupSession

Java SE JDK/JRE 8 Update 152 およびそれ以前

Java SE JDK/JRE 9.0.1 およびそれ以前

※ Oracle によると既に公式アップデートを終了している Java SE JDK/JRE 6 および 7 も脆弱性の影響を受けるとのことです。

3. 対応方法

Oracle から修正済みソフトウェアが公開されています。次の修正済みソフトウェアへアップデートを行ってください。

Java SE JDK/JRE 8 Update 161 ※1

Java SE JDK/JRE 9.0.4 ※2

Java SE Downloads

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>

※1 Java SE JDK/JRE 8系を使用する場合は GroupSession v4.5.1 以上にする必要があります。

※2 Java SE JDK/JRE 9系は GroupSession では未対応となっております。

4. 参考

IPA

Oracle Java の脆弱性対策について (CVE-2018-2638 等)

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20180117-jre.html>

JPCERT/CC

2018年1月 Oracle Java SE のクリティカルパッチアップデートに関する注意喚起

<https://www.jpCERT.or.jp/at/2018/at180003.html>